

デジタルサイネージにより多くのスポンサー紹介が可能に 会場を盛り上げ、ファン作りに15面ディスプレイが大活躍



導入先

沖縄バスケットボール株式会社さま



- 沖縄 / 那覇市
- 沖縄県をホームタウンとするプロバスケットボールチーム、琉球ゴールデンキングスのチーム運営会社。チームは2007年に創設され、同年よりbj(日本プロバスケットボール)リーグに新規参入された。



導入商品

インフォメーションディスプレイ
PN-E521 (52v型) × 15台

- 2010～11年のシーズンから、琉球ゴールデンキングスのホームゲームに導入。那覇市、宜野湾市など各試合会場に持ち運んで活用。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

これまでパネル式の広告をコートサイドに並べていましたが、紹介できる企業の数に制限がありました。よりたくさんのスポンサーを紹介できるツールを導入して、スポンサー増を図り、チームをさらに盛り上げていきたいという思いがありました。

1画面に次々と広告を表示することができ、より多くのスポンサー紹介が可能に。動きのある表示で注目度も高まりました。

選手紹介などにも15面マルチを活用して会場を盛り上げるなど、アリーナ全体のエンターテインメント性が格段にアップしました。



沖縄バスケットボール株式会社
代表取締役兼GM
木村達郎さま

■ 導入の背景

地元・沖縄で絶大な人気の琉球キングス。
スポンサー企業を増やし、さらなる盛り上げを。

琉球ゴールデンキングスはリーグ内で動員数ナンバーワンを誇っています。さらに経営基盤を強化していくため、スポンサーをもっと増やしたいと考えていました。また、会場のエンターテインメント性を向上させることで、観客の満足度も上げたいと考えていました。

■ 選ばれた理由

液晶ディスプレイの美しさに信頼感。
豊富なラインアップから52v型を選びました。

パネル広告を見せ方の自由度が高いデジタル化することに決定し、展示会などで見比べ、液晶の美しさに信頼のあるシャープを選びました。設置場所は、試合を管理するテーブル・オフィシャルズ前なので、試合進行を妨げないよう、これまでのパネルと同じ高さであることをポイントに52v型に決定しました。

■ 導入後の効果

より多くのスポンサー紹介が可能に。
動きをつけることで注目度もアップ。

デジタル化で、1画面に次々と企業名を紹介することができ、オフィシャルスポンサーだけでなく、小口スポンサーの紹介も実現。動きのある表示で目に留めてもらいやすくなりました。またマルチディスプレイなので移動・設営が比較的容易で、那覇市、宜野湾市など各試合会場に持ち込んで活用しています。

■ 今後の展望

海外のバスケットファンにも楽しんでいただきたい。

実力もリーグトップクラスのキングスは、アジア王者も目標にしています。海外のお客さまがコート上の15面マルチを見て「日本のチーム、日本の技術はすごい」と感じて頂ける効果にも期待しています。



52v型の高さが採用のポイントに（表面はパネルで保護されている）



バスケットのルールを表示することも



プレーの合間、地元小学生のミニゲームもマルチ映像で盛り上げる



試合前の選手紹介では、会場盛り上げに大きな役割